

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年6月11日

【2018年6月2日～2018年6月8日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対米ドルおよび対円で上昇しました。また、2年国債金利も上昇しました。新興国からの資金流出が世界的に継続する中、ブラジル中央銀行が為替介入の姿勢を強めたことなどがこうした動きの背景となりました。

経済指標では、7日（現地、以下同様）に5月の自動車生産台数が発表され、前月比で生産が減少したことが判明しました。また、各種インフレ率も公表されましたが、いずれも市場予想を上回るインフレ率の上昇となりました。これらは5月下旬に起きたトラック運転手らによるストライキの影響を大きく受けているものと推測されます。

ブラジルからの資金流出が続く状況を受けて、ブラジル中央銀行は再三のスワップ介入を実施しています。週後半にかけてブラジル・レアルは反発に転じたものの、ブラジル・レアルが下げ止まったかは依然不透明で、注意が必要とみられます。

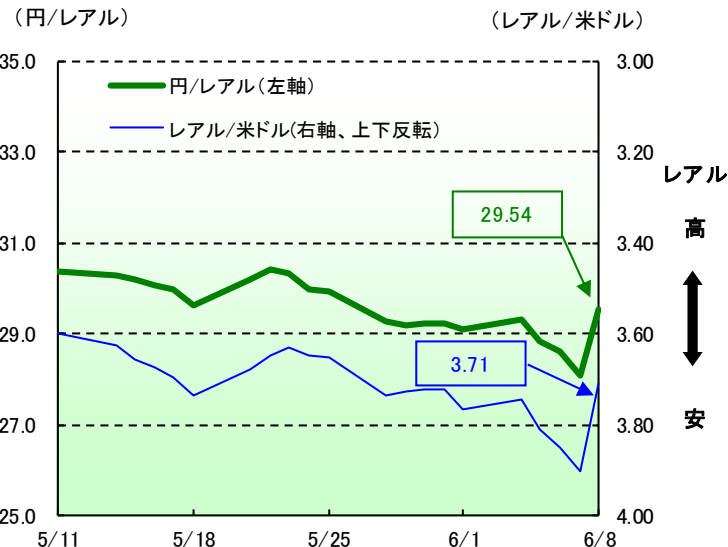
【2】今週の見通し

今週は、13日に4月の小売売上高が発表されるほか、15日に同月の経済活動指数が公表される予定です。経済活動指数については、日数の影響もあり改善が予想されています。また、大統領選挙についても世論調査が発表される予定となっています。ストライキを受けて支持率に変化がみられるか注目されます。

インドやインドネシアをはじめ、他の新興国では政策金利の引き上げを実施する国がみられています。ブラジルでも、ブラジル中央銀行が次回以降のCOPOM（金融政策委員会）において政策金利を引き上げるとの観測が高まりつつあり、今後の動向に注意が必要です。

【ブラジル・レアル 為替推移】

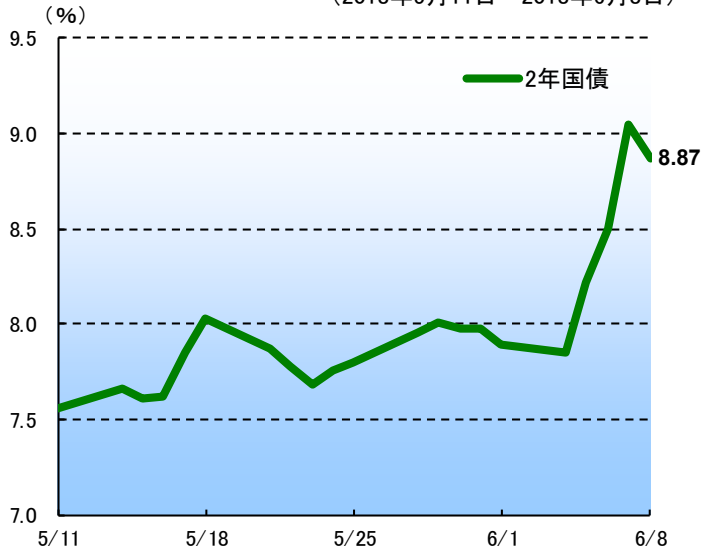
（2018年5月11日～2018年6月8日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

（2018年5月11日～2018年6月8日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>